

消防本部 防火衣一式購入

仕 様 書

筑西広域市町村圏事務組合消防本部

防火衣一式仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、筑西広域市町村圏事務組合消防本部（以下「当消防組合」という。）の消防隊員用上下型防火衣（しころ付き）（以下「防火衣等」という。）について、必要な事項を定める。
- 2 この防火衣等は、火災現場等の高熱的環境下において使用するもので、材料・構造・形状・品質及び付属品は、全般にわたり十分に社内検査が実施され、この仕様書の全てを満たすものであり、仕上がりが優良な製品であること。なお、すべての製品において製造物責任法の適用物品とすること。
- 3 この仕様書に定める防火衣等について国際規格 ISO11999-3-2015「タイプ1（欧州規格）」に準拠するものとし、また最新の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに定める防火服の性能に適合すること。
- 4 受注者は、この仕様書により製作した見本を提出し、承認を受けること。なお、本製作は見本の承認を受けた後とすること。
- 5 仕様の詳細については入札決定後、当消防組合担当課と調整を図ること。

第2 品名及び数量

- 1 防火衣 上下 52着（クールベスト保冷剤付）
（サイズ内訳： 職員の採寸又はサイズ希望調査にて決定する）
- 2 防火帽 52個
- 3 しころ 52枚（ワッペン付）
- 4 墜落制止用器具 52個
- 5 防火フード 52着

第3 消防吏員用上下型防火衣（しころ付き）の仕様

1 構造及び使用材料

消防吏員用上下型防火衣（しころ付き）の構造及び使用材料は、下記(1)から(5)のとおりとすること。

(1) 構造等

上下型防火衣（しころ付き）は、外衣と內衣からなる多層構造とし、立体デザインの上衣とズボンとすること。

(2) 外衣生地（上衣／ズボン／しころ）

別表 1 の項目を満たすこと。

(3) 內衣

ア 透湿防水層（上衣／ズボン／しころ）

素材は、芳香族ポリアミド繊維生地にフッ素樹脂多孔質フィルムを加工したものとし、別表 2 の規格を満たすこと。

イ 断熱層（上衣用）

素材は、芳香族ポリアミド繊維生地に芳香族ポリアミド繊維の糸をストライプ状に配置した形状で、空気層を有効に得られる構造とし、別表 2 の規格を満たすこと。

ウ 断熱層（ズボン）

素材はアラミド繊維を主体とする生地を使用し、別表 2 の規格を満たすこと。

エ 補助材料

上衣及びズボンの補助材料はそれぞれ、別表 3 及び別表 4 とすること。

(4) 縫製

ア 縫製は、防火衣としての強度を確保できるものとする。

イ 糸調子等は、良好であるものとする。

(5) 色相

消防隊員用防火衣はゴールドを基本色とし同等品の紺色生地を配色する。
生地配色は別途指示

2 上衣の仕様

上衣は、「1 構造及び使用材料」に従うとともに、「別図 1 防火衣上衣」を参考とし、下記(1)から(4)を満たすものとする。

(1) 条件

消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が腕を上方に引き上げた時でも、上衣全体が上方へ引き上げられず、スムーズに運動できる Y ライン袖付けとすること。

(2) サイズ及び形状

サイズは別表 5 とし、形状は「別図 1 防火上衣」とすること。

(3) 身頃

ア 身頃は、左右前身頃各 1 枚と後身頃 1 枚をほぼ台形状の肩部において、連結させる構造とすること。

イ 前合わせはファスナーと面ファスナーを用いた開閉式とすること。また、ファスナーの閉鎖が容易にできるよう、取っ手を付けるなどの処置をすること。

ウ 肩当てパッドは、両肩部にパラ系芳香族ポリアミド繊維 100%のフェルトの肩当てを外衣共布に挟み、縫い付けること。

(4) 袖

左右袖は、外袖、内袖、マチ部及び袖口身返しにより構成すること。

なお、マチ部により、左右肩一端部、左右前身頃、後身頃及び立体的に湾曲に形成された筒状の袖が連結され、両袖を上方へ引き上げた時に、前身頃及び後身頃が上方へずり上がらない構造の Y ライン袖付けとすること。

(5) 衿

ア 表裏外衣共布を用い、耐熱ゴム引布を芯地にすること。

イ 衿中央部内側に十分な強度をもった衿吊りを取り付けること。

(6) 無線機用フック

身頃両胸に、無線機用フックを取り付けること。

(7) 裾ポケット

ア ポケットは、マチを付けた雨ぶた付きアウトポケットとし、左右身頃に平行に取り付けること。

イ 底部には、水抜き用ハトメを取り付けること。

ウ 雨ぶた止めは、面ファスナーとすること。

エ 雨ぶたは両端を面ファスナー止めとすること。

オ 雨ぶたはケブラー手袋装着時でも開閉しやすいデザインとすること。

(8) 胸ポケット

ア ポケットは、マチを付けた雨ぶた付きアウトポケットで左右身頃に平行に取り付けること。

イ 底部には、水抜き用ハトメを取り付けること。

ウ ポケット内部にループを前中心側に取り付けること。

エ 雨ふたはアンテナが出し入れしやすい構造とすること。

(9) 反射布

左右胸、裾、袖、背中の表面に各々縫い付けること。

(10) ネームタグ

指定した場所に標示布を縫い付けること。

(11) 消防名表示

背上部、及び裾部に別図 1 及び参考図のとおり、消防名を標示すること。

背上部は、「CHIKUSEI 筑西消防」とし、裾部は「CHIKUSEI FIRE DEPT. 」と熱圧着にて反射文字を表示すること。なお、文字の色・太さ等については製作前に担当者と協議すること。

(12) 內衣

ア 內衣は、ファスナーで着脱可能とすること。

イ 身頃は、左右前身頃、後身頃及び左右肩部から構成すること。

ウ 袖は、上袖、下袖及びマチ部から構成すること。

エ 袖先部は、外衣袖口部と面ファスナーで取り付け、防水布を縫い付けること。

オ 防水層の縫い目は、目止め加工を施すこと。

カ 冷却剤収納ポケットを 3 か所取り付けること。

キ 內衣に標示布（別図 3）を縫い付けること。

(13) 防火衣 1 着についてローブ袋を付けること。

(14) 防火衣 1 着につきクールベスト及び保冷材 4 個を付けること。

※ 保冷材については、保冷時間 4 時間以上の性能を有する物を付属すること。

3 ズボンの仕様

ズボンは、「1 構造及び使用材料」に従うとともに、「別図 2 防火衣ズボン」を参考とし、下記(1)から(8)を満たすものとする。

(1) 条件

消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が上下屈伸運動をした時でも、膝部の抵抗が少なく、腰部のずれ下がりが無いものとする。

(2) サイズ及び形状

サイズは別表 6 とし、形状は「別図 2 防火衣ズボン」とすること。

(3) 身頃

ア 腰部、左右上脚部及び左右下脚部を有し、左右上脚部の筒状のものと、左右下脚部の筒状のものを連結させた構造とすること。

なお、尻部には脚曲げのための余裕を、連結部には膝曲げのための余裕をそれぞれ確保する構造とすること。さらに股下は、バイヤス方向にマチ部を取り、運動性を高める構造とすること。

イ 前立ては、長さ約 22cm のファスナーを縫い付け、押しホックと面ファスナーで止めること。

ウ 裾の外脇に長さ約 33cm のファスナーを縫い付け、裏に水切り用として共布を縫い付けること。

(4) ウエストベルト

ウエストベルトは、本体部の腰部ほぼ全周を包む縫い付け式のベルトとすること。なお、ベルトは、後部のコキ尾錠により、長さを調整できるものとし、リリースタブを赤色に色分けすること。

(5) 墜落制止用器具通し

腰部に、計 5 か所、共布 3 枚重ね以上で縫い付けること。前側 2 か所は押しホックを上側 2 か所に取り付けること。

(6) ポケット

ア ポケットは、マチを付けた雨ぶた付アウトポケットとし、左右に取り付けること。

イ 底部には、水抜き用ハトメを取り付けること。

ウ 雨ぶた止めは、面ファスナーとすること。

エ 雨ぶたはケブラー手袋装着時でも開閉しやすいデザインとすること。

(7) 反射布

裾口に反射布を縫い付けること。

(8) 內衣

ア 外衣と內衣は、各々縫製後、胴回り一周と前立て及び裾口で縫い合わせ一体とすること。

イ 內衣身頃は、膝部での切替えとすること。切替えより上部は、左右前身頃、左右後身頃から構成すること。切替えより下部は、前身頃、後身頃から構成すること。

ウ 內衣、左前身頃上部に標示布（別図 3）を縫い付けること。

エ 防水層の縫い目は、目止め加工を施すこと。

第 4 防火帽

1 条件

消防活動上の安全性を確保するために必要な防護性能と強度を有するとともに、十分に品質管理を行った材料を用い、仕上がりが優良な製品であること。

2 適合法令等

- (1) ISO11999-5（防火帽（平成 27 年 11 月 1 日出版））のタイプ 1 の性能を満たすものであること。【別表 7】及び新ガイドラインを満たすもの。
- (2) 労働安全衛生法（昭和 47 年法律 57 号）第 42 条の規定に基づく保護帽の規格（昭和 50 年 9 月労働省告示第 66 号、平成 12 年 12 月 25 日労働省告示第 120 号）以下「保護帽の規格」という。）の飛来・落下及び墜落による危険防止をするための全ての条件を満足する性能を有するものであること。

3 書類等の提出

原則として、公的機関等の検査（試験）成績書とするが、検査設備等の理由で公的検査機関において検査が不可能な項目及び当局が認めた項目については、社内検査成績書とすることができる。

4 見本等の提出

- (1) 当局が必要と判断した場合は、材料見本等の提出を速やかにしなければならない。
- (2) 受注者は材料見本について承認を受けた後、この仕様書により製作した見本を当局の判断で必要とした場合、提出して承認を受けなければならない。

5 仕様

(1) 型式

公益社団法人産業安全技術協会の型式検定合格品又は同等品以上と認められるもの。

(2) 材料

ア 防火帽

防火帽の材料については【別表 8】のとおりとする。

イ しころ

生地及び性能は防火衣と同等品とする。

6 形状等

防火帽

(1) 形状は、セミジェット型とする。【概要図 1 参考】

(2) 帽体側面に当局の指定する文字を入れ、ウレタンクリアー仕上げで表面加工を施すこととし、帽体周囲に（赤色蛍光）を貼り付けること。【概要図 2 参照】

(3) 帽体の後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

(4) 重量は、930 g 以下とする。

7 構造

(1) 帽体

ア 表面は滑らかで、堅牢であるものとする。

イ 帽体表面の塗装は、指定のメタリック系色（シルバー）の焼き付け塗装とし、容易に剥離変色しないこと。

ウ 帽体本体には、自己消火性の性能を有すること。

(2) 着装体

ア ハンモック

かぶり深さが調整できる補助ハンモック付であること。

イ ヘッドバンド

頭回りに応じて約 550 mm から約 630 mm までの範囲で、ワンタッチダイヤル等を用いて調整できるものであり、頭が接触する部分に吸収性及

び耐久性に優れた素材が取り付けであること。

(3) しころ取り付け板

ア しころ取り付け用として、帽体に取り付けてあること。

イ ホック（凸型）を6個取り付けること。

(4) 頭頂パッド

頭頂部に、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

(5) 顎ひも

ア 顎ひも（顎締め用・左締め）は、難燃性の材料を使用、片方をワンタッチで着脱できる方法とし、使用中に防火帽の脱落又はぐらつきがないように丸かんで確実に締められるものであること。

イ 交換できるものとする。

ウ 顎ひも締め金具に、顎ひもと55mmの共布のつまみを取り付け、緩めやすくする。

エ 防火帽保持装置の有効性で人頭から容易に離脱しないこと。

(6) 着装体固定リベット

着装した状態で、装着体固定リベットと着装者の頭部が直接接触しないこと。

(7) 顔面保護板

ア 前面からの注水に対し顔面を保護できる構造であり、視界の妨げとなるゆがみ等がないこと。

イ 顔面保護板を帽体内に収納できる構造とし、円滑に引き出せる機構を有するものであること。

ウ 顔面保護板を完全に引き出した状態で、顔面側に角度を変更し、ロック機構を持つこと。

エ 顔面保護板を格納した状態で空気呼吸用面体を装着した場合、面体の上縁と保護板の下端部が当たり、防火帽が上方に押し上げられる、いわゆる「あみだ」にならないよう正しく装着できること。

オ 顔面保護板の下端は、取り出し易いように持ち手（ポリカボネートの成形品）をもうけ、外れないように取り付けること。

8 縫製等

防火帽

- (1) 顎ひもの先端には、ほつれ止めを施し、締め金具を取り付ける。
- (2) 縫い始め、縫い終わりは返し縫いを完全にする。
- (3) 縫い飛び、縫い外れなどがなく、上下糸にほつれ又はたるみがなく、糸調子は良好で縫い曲がりが目立たないこと。

9 表示

(1) 内部

ア 防火帽本体内側に貼付する表示については、【概要図 4】のとおりとする。

イ 貼付位置にあつては、防火帽本体内側とし、容易に剥がれたり、文字が消えない位置とする。

(2) 外部

左右両側に『筑西消防』と黒色丸ゴシックにて表示する。

10 しころの仕様

しころは、「(2)(イ)材料」に従うとともに、下記(1)から(3)を満たすものとする。なお、詳細は別途指示する。【別図 4 しころ】参照

(1) 条件

防火帽に直接取り付けるものとし、顔面部と首部を保護する。

(2) サイズ及び形状

サイズはワンサイズのみとし、形状等は別途指示する。

(3) 構造

ア 表生地・裏生地各々 1 枚裁ちとし重ね合わせ、見返しは表地共布とすること。

イ 左右全面重なり箇所、マジックテープを取り付けること。

ウ 帽体取り付け用に押しホックを用いること。

エ 左右折り返し用の押しホックを左右に取り付けること。

オ 識別ワッペンを取り付けできるようにすること。

なお、納入するワッペンの種類及び個数については、別途指示する。

第5 墜落制止用器具

墜落制止用器具は、下記(1)から(6)を満たすものとし、墜落制止用器具を収納できる袋を付けること。

なお、詳細については、別途指示する。

(1) 品名

墜落制止用器具（胴ベルト型）

(2) 形状及び寸法

形状及び寸法は消防本部と打合せを行い納入すること。

(3) 材料

使用する主な材料は下表のとおりとする。

ア	胴締めベルト	ナイロン原糸を用いた細幅で軟織加工のもの
イ	バックル	JIS G 4105（クロムモリブデン鋼鋼材） SCM-435、またはこれと同等以上の機能性質を有したもの
ウ	D 環	JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） SS400、またはこれと同等以上の機能性質を有したもの
エ	カラビナ	軽合金製
オ	ロープ	ナイロン原糸を使用したもの
カ	ショックアブソーバ	荷重 130 k g に対応したもの

(4) 構造

各部の構造は下表のとおりとする。

ア	胴締めベルト	黒の細幅織ベルトにワンタッチ式バックルを取り付け、D 環 1 個を D 環止めにて取り付けること。
イ	バックル	ダブルロック機能付きワンタッチ方式
ウ	バックルカバー	合成樹脂製
エ	D 環	継ぎ目の無い一体鍛造製であること。ベルトとの接触部分には、摩耗防止の処置を講じること。
オ	カラビナ	かぎ部は二重の外れ止め装置を備えたものであること。また、安全確認のため外れ止め装置先端部には、赤色の識別をすること。
カ	ロープ	ブレードロープ式で長さは別途指示する。
キ	ショックアブソーバ	胴ベルトに固定し、130 k g 対応品とする。

ク 墜落制止用器具保護カバー 訓練時及び現場活動時のショックアブソーバ部分の破損（溶融）防止のため、保護カバーを付け、ロープも収納可能な形状とすること。

(5) 性能

性能は、労働安全衛生法の規定に基づき定められた「墜落制止用器具の規格」値を満たすこと。

(6) 表示

安全帯の適当な箇所に次の事項を表示すること。

ア 製造年月

イ 製造番号

ウ 製造業者名またはその略号

第6 防火フード

防火フードの仕様サイズにあつては別途協議とする。

第7 納品

(1) 納品期限 令和7年2月28日まで

(2) 納品場所 筑西広域市町村圏事務組合消防本部
(筑西市直井1076番地)

(2) 納品個数 52着

第8 その他

(1) 受注者は受注後、速やかに当消防組合担当課と細部の仕様について打ち合わせを行うこと。

(2) 本仕様書に疑義、使用素材等変更が生じたときは、速やかに発注者と受注者が協議の上、決定すること。また、定めのない事項については、受注者の良心的責任において解決するものとする。

(3) 検査納入の日から、材料、形成等製造上の欠陥が認められたとき及び取り扱い不注意並びに天災による以外の理由により、不都合箇所が生じた場合は、当消防組合担当課と調整し、無償にて修理、交換を行うものとする。

また、天変地異や疫病の流行など不可抗力によって当事者が契約上の義

務を果たせない場合は、当消防組合担当課と協議をするものとする。

(4) 参考商品

防火帽：(株)イマジョー製 防火帽 IMF-X 型

外 衣 ・ し こ ろ 規 格

項目	仕様規格等		試験方法
構成	表生地部 メタ系芳香族ポリアミド繊維とパラ系芳香族ポリアミド繊維と PBO 繊維の混紡生地		—
混用率	表生地組織部 メタ系芳香族ポリアミド繊維 40%以上 パラ系芳香族ポリアミド繊維 40%以上 PBO 繊維 8%以上		JIS L 1030 (標準)
糸番手	表生地組織部 たて・よこ共 30/2		JIS L 1096
組織	特殊 2 重織		JIS L 1096
密度 (本/2.54cm)	たて 45 本以上 よこ 30 本以上		JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1 秒以下	ISO 15025 A 法
	燃焼面積	1 cm ² 以下	
	火炎が試験片の上端・両端に伝播したか	達しない	ISO 15025 B 法 (表面着火法) 洗濯処理後
	熔融滴下物の有無	なし	
	残炎時間	1 秒以下	
	炭化長	3 cm 以下	
	残じんが炭化した部を超えて伝播したか	しない	
引張強度	たて 2,000N 以上 よこ 1,500N 以上		JIS L 1096 A 法 ラベル・ストリップ 法 引張速度：20 cm/min つかみ間隔：20 cm 試験機：定速伸長形
引裂強度	たて 200N 以上 よこ 150N 以上		JIS L 1096 A-1 法 シングルタング 法 試料幅：5 cm 引張速度：10 cm/min
シーム強度	500N 以上		ISO 13935-2
染色堅牢度 色相	洗濯 (変退色)	4 級以上	J I S L 0844
	洗濯 (汚染)	4 級以上	
	汗 (酸性 変退)	4 級以上	
	汗 (酸性 汚染)	4 級以上	
	汗 (アルカリ性 変退)	4 級以上	
	汗 (アルカリ性 汚染)	4 級以上	

內衣の規格

試験項目	試験方法	規格		
		防水層	上衣断熱層	ズボン断熱層
重量	J I S - L - 1096	160g/㎡以下	220g/㎡以下	170g/㎡以下
引張強度	JIS-L-1096 ラベルトスリップ法 試料幅 5 cm 引張速度 20cm/min つかみ間隔 20cm 試験機 定速伸長形	たて 450N以上 よこ 450N以上	たて 450N以上 よこ 450N以上	たて 450N以上 よこ 450N以上
引裂強度	J I S - L - 1096 シングルタンク法	たて 25N以上 よこ 25N以上	たて 20N以上 よこ 20N以上	たて 20N以上 よこ 20N以上
燃焼性	J I S - L - 1091 A - 1 法	残炎 1 秒以下 残じん 1 秒以下 炭化面積 15 cm ² 以下	残炎 1 秒以下 残じん 1 秒以下 炭化面積 15 cm ² 以下	残炎 2 秒以下 残じん 2 秒以下 炭化面積 15 cm ² 以下
耐水度	J I S - L - 1092 B 法 洗濯方法 J I S - L - 0217 103 法	初期 300kpa 以上 20 回洗濯後 300kpa 以上		
透湿度	J I S - L - 1099 B - 2 法	600g/㎡・h 以上		

【別表 3】

防 火 上 衣 補 助 材 料

区 分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	面ファスナー	黒色 幅 50mm	衿止め、內衣取付用 (裾部)
	面ファスナー	黒色 幅 38mm	前立て
	面ファスナー	黒色 幅 25mm	袖口
	金属ファスナー	難燃 長さ 40cm	前合わせ
	耐熱ゴム引布	基布にアルミニウム粉末を混入した合成ゴム を片面加工	衿芯
	フェルト	パラ系全芳香族ポリアミド 100% 280g/㎡ 標準	肩当てパッド
	反射布	オラフォル社製 FTP-1575-S:約 75mm ストライ プ入りダイヤモンドトリム巾約 75mm	裾回一周 両袖
	座付ハトメ	# 500	ポケット 水抜き用
	ネームタグ	ポリエステル	標示布
	縫製糸	芳香族ポリアミド 30 番 芳香族ポリアミド 40 番 生成色、紺又は黒色	ほつれ止めを除く

防 火 ズ ボ ン 補 助 材 料

区 分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	金属止め ファスナー	長さ 33 c m 金属製 長さ 22 c m 金属製	裾 前立て用
	面ファスナー	黒色 幅 50m m 黒色 幅 38m m	ポケット 前立て
	P P テープ	黒色 幅 30m m 以上 赤色 幅 30m m 以上	ウエストベルト
	D 環	黒色樹脂製	ウエストベルト 締め込み用
	押しホック	# 7050 黄銅製ニッケルメッキ	前合わせ 墜落制止用器具通 し
	座付ハトメ	# 500	ポケット 水抜き穴
	反射布	オラフォル社製 FTP-1575-S:約 75 mm スト ライプ入りダイヤモンドトリム巾約 75 mm	裾回一周
	ネームタグ	ポリエステル	標示布
	縫製糸	芳香族ポリアミド 30 番 芳香族ポリアミド 40 番	ほつれ止めを除く

【別表 5】

防火上衣サイズ表

単位：cm

	前 丈	胸 囲	衿 丈	袖口幅	適 応 身 長
S	6 5	1 1 6	7 7	1 6	1 6 0 ～ 1 6 5
M	6 8	1 2 0	8 0	1 6	1 6 5 ～ 1 7 0
L	7 2	1 2 4	8 3	1 6	1 7 0 ～ 1 7 5
L L	7 6	1 3 0	8 6	1 6	1 7 5 ～ 1 8 0
3 L	8 0	1 3 6	8 9	1 6	1 8 0 以上

許容差 ± 3

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせすること。

防火ズボンサイズ表

単位:cm

		総 丈	股 下	胴 廻	裾口幅	適応身長
S	－60	88	60	83	21.0	160～165
M	－65	94	65	89	21.5	165～170
	－70	99	70			
	－75	104	75			
L	－65	95	65	94	22.0	170～175
	－70	100	70			
	－75	105	75			
LL	－65	96	65	104	22.5	175～180
	－70	101	70			
	－75	106	75			
3L	－65	97	65	110	23.0	180以上
	－70	102	70			
	－75	107	75			

許容差 ±3

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせすること。

規格等

名称		防火帽	
項目		規格等	試験方法
保護範囲		参照平面から 12.7 mm 上の全範囲	IS011999-5 4.1.10
周辺視野		1 水平に 105 度以上の視野角度 2 参照平面から上方 7 度以上の視野角度 3 基礎平面から下方 45 度以上の視野角度	IS011999-5 TYPE1 試験方法 EN13087-6:2012 4.11.11
熱伝達性 (放射熱 暴露)		1 人頭模型の表面の温度上昇 $\leq 24^{\circ}\text{C}$ 2 帽体の素材の溶解、滴下なし 3 機能を損なうような膨張、変形、亀裂、穴あきなし	IS01199-5 TYPE1 METHOD B 試験方法:4.5.1.2 4.4.2.2
耐熱性		1 人頭模型に接触していない部分が試験後人頭模型に接触していないこと 2 剥離、溶融、滴下、発火しない 3 可動部分が機能すること	IS011999-5 TYPE1 試験方法:4.5.2.2 4.4.3.1
耐 炎 性	防 火 帽 (し こ ろ を 除 く)	1 帽体素材、顔面保護板の残炎、残じん時間 ≤ 2 秒 2 帽体表面の塗装の残炎、残じん時間 ≤ 5 秒 3 帽体及び顔面保護板に分離、滴下なし	IS011999-5 TYPE1 試験方法:4.5.3.1 4.4.4.1
衝撃吸収 性		人頭模型に伝達される荷重 $\leq 15\text{KN}$	IS011999-5 TYPE1 試験方法:4.5.6.1 4.4.7.1

防火帽材質等一覧

材質等

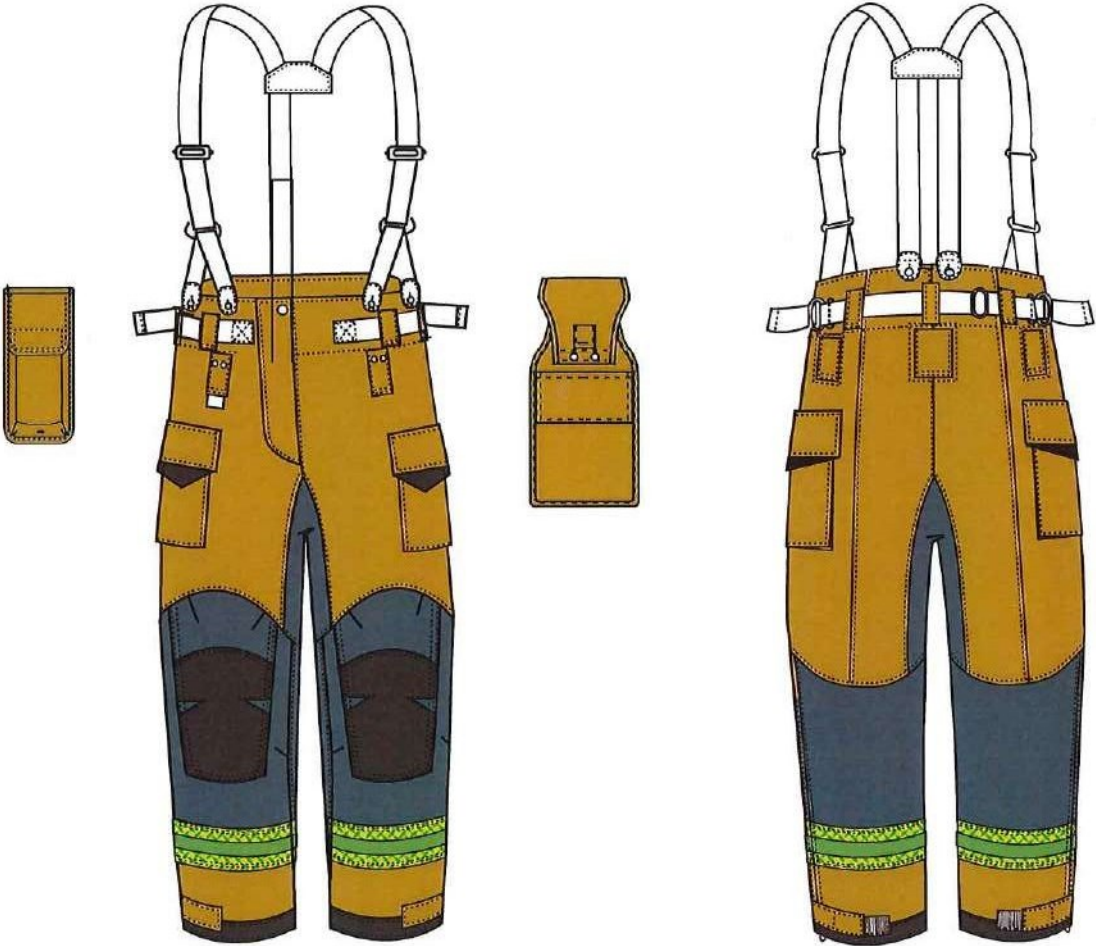
名称		防火帽
帽体		ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製
衝撃吸収ライナ		難熱性を施した発泡ライナー
着 装 体	ハンモック 補助ハンモ ック ヘッドバン ド	ナイロン成形品
	しころ取付 板	ナイロン成形品またはナイロン板打ち抜き品
	補助ハンモ ック調整ひ も	ポリエステルまたはナイロン製 長さ 350 mm以上とし、両側をほつれ止めしてあること
装着体固定リベッ ト		防食性を有する金属製
顎ひも		難燃性繊維仕様、黒色着色とする。
顎ひも調整器具		ステンレス鋼または同等の強度及び防食性を有する金属製とし、形状は概要図のとおりとすること
顔面保護板		無色透明のポリカーボネイト版（両面をハードコートしたもの） たて（帽体のひさしの下端からの有効長） 125 mm以上 よこ（周長） 240 mm以上 厚さ 1.5 mm以上

耐貫通性	ストライカと人頭模型に接触なし	IS011999－5 TYPE1 試験方法:4.5.9.1 4.4.10.1
耐側圧性	1 防火帽の横方向、又は縦方向の 最大変形率 ≤ 40 cm 2 残留変形 ≤ 15 mm	IS011999－5 TYPE1 試験方法:4.5.10 4.4.10.1
耐電氣的 特性	絶縁破壊の痕跡なし 漏電電流 ≤ 1.2 mA	IS011999－5 TYPE1 試験方法:EN13087－8:2000 5.2 4.5.15.1.1

【別図 1 防火衣上衣（消防隊用）】



【別図 2 防火衣ズボン（消防隊用）】



【別図 3 標示布（消防隊用）】

表 示	
所 属	
氏 名	
貸与年月	年 月 日
製造業者名	
管理番号	

しころ

【別図4 しころ】

中隊長ワッペン



小隊長ワッペン

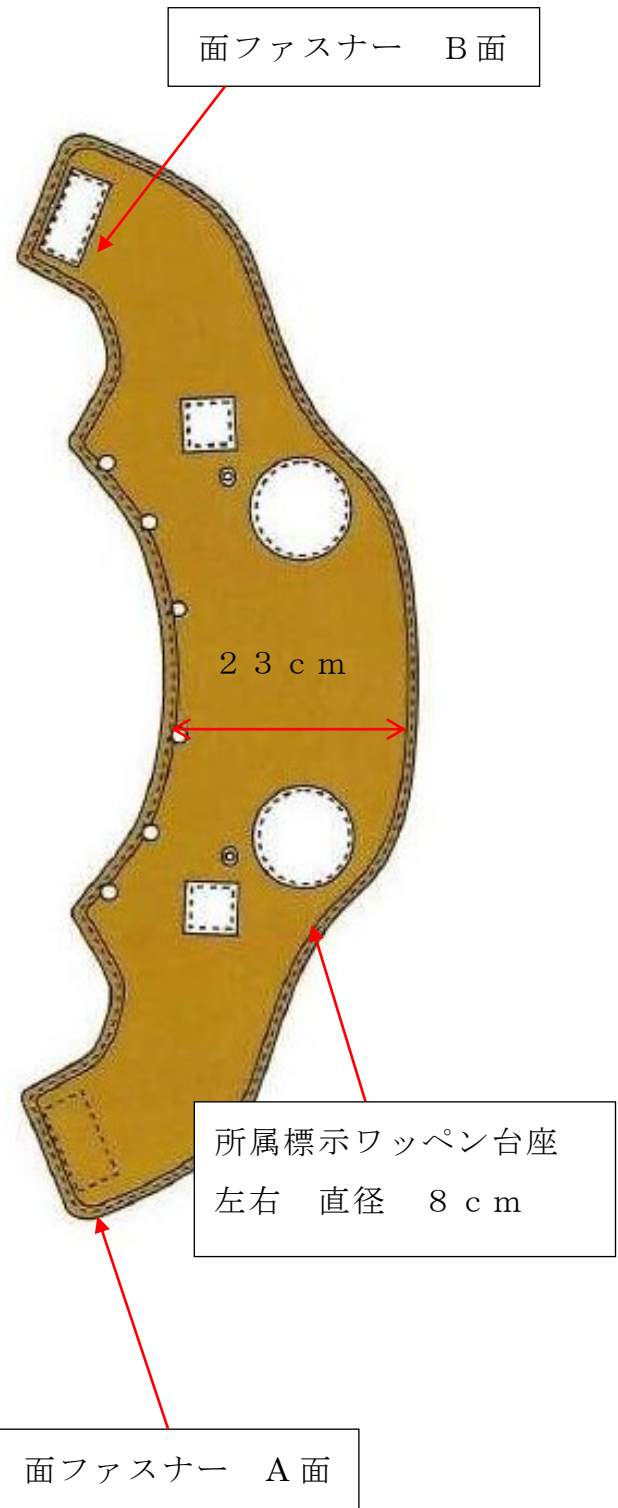


隊員用ワッペン



※文字は協議にて決定する。

※左右合わせて1組とする。



参 考 図

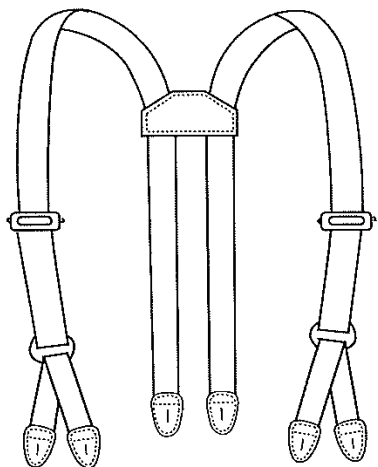
背面の組合名プリント

筑西消防

難燃の反射文字プリント 文字 丸ゴシック 色 黄色

※ 背プリントは、当消防組合と話し合いのうえデザイン、文字の大きさ等を決定する

サスペンダー

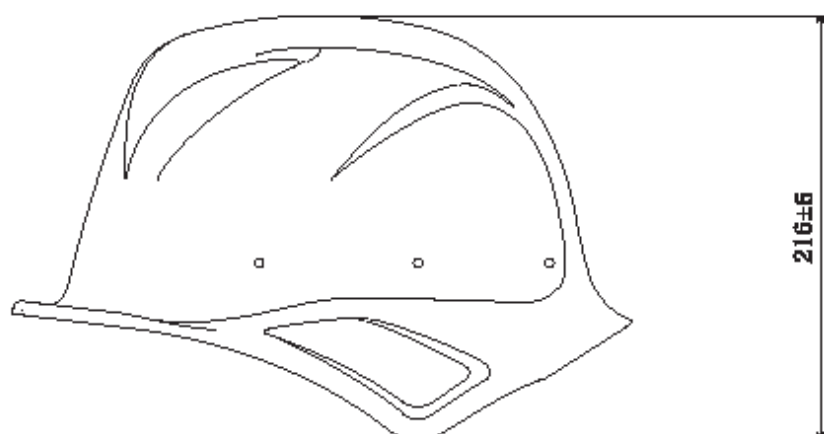
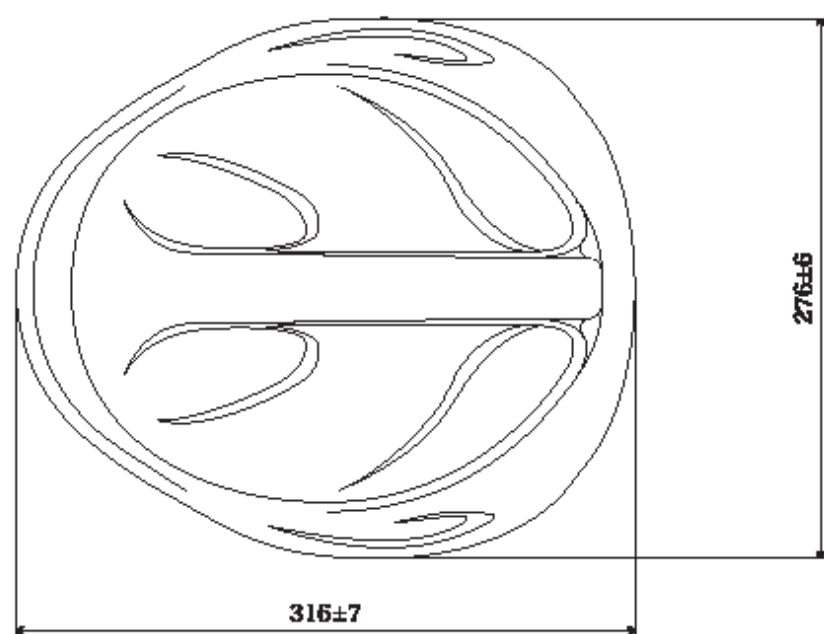


* 参考図は参考イメージとし、詳細は落札業者との調整とする。

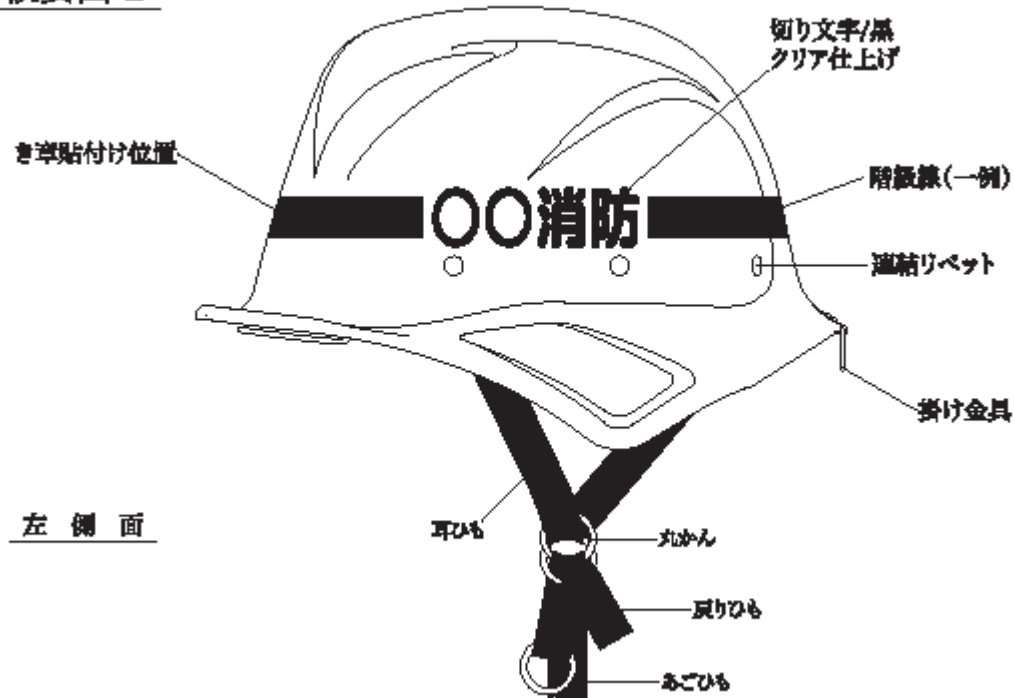
概要図 1

寸 法

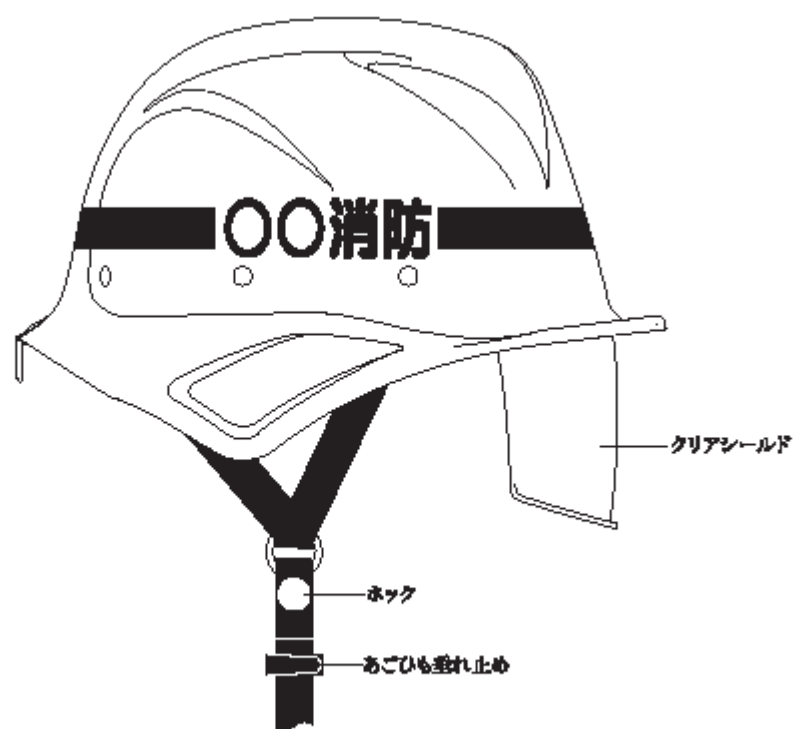
単位 mm



概要図 2



左側面



右側面

概要図 3

単位:mm

き 章



C-2消防署シール

概要図 4

表 示	
所 属	
氏 名	
貸与年月	年 月 日
製造業者名	
管理番号	

